

別紙様式3

平成30年度 第1回 岐阜県立池田高等学校活性化協議会 議事要旨

日 時	平成30年6月13日(水) 13:30~15:30
場 所	池田高等学校 会議室
出席者 (敬称略、 50音順)	飯 田 静 世 神戸町子育てボランティア団体代表 小 川 幹 雄 神戸町立神戸中学校長 岡 崎 和 夫 池田町長 岡 崎 眞 治 太陽工業(株)常務取締役 国 枝 慎太郎 岐阜県議会議員 国 枝 磨須美 池田町教育長 小 林 月 子 サンビレッジ国際医療福祉専門学校長 須 原 政 博 池田高等学校同窓会長 西 川 菊 雄 池田町上田区長 野 原 恵 子 元池田高等学校育友会役員 藤 井 弘 之 神戸町教育長 牧 村 範 康 岐阜県議会議員 松 井 千 昭 岐阜県立池田高等学校長 松 岡 政 美 池田町商工会長 山 川 実 池田高等学校育友会長 吉 田 秀 慈 池田町立池田中学校長 松 井 千 昭 池田高等学校長 炭 竈 由 彦 池田高等学校教頭 下 野 宗 紀 県教育委員会教育総務課課長補佐

議事概要	<p>1 校内参観 2年3組授業参観(LHR) 2年4組(理系)授業参観(コミュニケーション英語Ⅱ)</p> <p>2 学校紹介プレゼンテーション</p> <p>3 意見交換 テーマ:「地域と連携し活力ある池田高校にするための取組について」</p> <p>① ICTやAIを使用した教育を進めていく中で、タブレットが5人で1台ではなく、1人1台の環境を進めていただけるとよいのではないか。</p> <p>② 少人数の英語の授業が非常に活発に展開されており大変印象的であったが、生徒の発表の場が少なかったのでこれからの検討材料としてほしい。池田中学校で1日体験入学を実施されたそうであるが、是非それを神戸中学校や大野中学校まで広げてほしい。今年度は22名の定員オーバーとなって不合格者が多く出たことは残念だが、昨年の活性化協議会の成果によるものではないか。テストの点数で選択したのか、ユネスコスクールを基とする地域密着型の福祉教育やアクティブラーニング等の学校の運営や教育に共感して入学したのか、生徒だけでなく保護者についても検証することで次の手が見えてくるのではないかと。選抜性の高い大学への進学が多い高校に進学せずに池田高校に入学した生徒に対し、どのように池田高校の魅力が伝わったのかを検証し、その魅力を他の生徒たちに伝えるにはどうすればよいのか、また、PRの対象となるターゲットをどのように絞り込むのか検討していくとよい。</p>
------	---

- ③ 活発な授業が展開されており感心した。160名の入学者の中で女子が100名いることから、新しい制服の影響が大きいのではないかと感じる。昨年の資料によれば、22の中学校にパンフレットを配布するなど色々な努力をされている。部活動については、伝統的な空手道部やバドミントン部など様々な部が活躍している。野球部も成果を上げて頑張っていることもPRになっているのではないかと。
- ④ 池田町の広報誌を池田高校の生徒が作ってくれたのであるが、タブレットを活用した授業等の成果が生かされており、町への貢献について感謝している。学校の様々な取組や生徒の活動がHPでも紹介され、生き生きと活動していることが伝わってくる。HPから、生徒の力や学校の力が感じられることは、保護者や子どもにとって魅力的である。これから先も積極的にPRを続けていくとよい。
- ⑤ 受検希望者が182名あったということは、この2年間の成果である。時期的に少し遅いかもしれないが、学校の取組や新しい制服などについて、新1年生の意見を聞く必要があるのではないかと。来年、再来年は生徒数が大幅に減少するため重要な年となる。
- ⑥ 池田高校の魅力は何かということが一番大切なポイントである。空手道部や野球部の話が上がったが、力を注いで一つ一つ魅力を伸ばしていくことが大切ではないか。あれもこれもと手を広げるのではなく、現在の特徴を生かすことで魅力を絞ってPRすることが必要だと思う。
- ⑦ ユネスコスクール認定後、着実に成果が上がっており、生徒達の生き生きとした姿を拝見し、嬉しく思っている。本日は少人数の授業を見せていただいたが、その際の分ける分け方について教えていただきたい。
- ⑧ 授業を見学し、少人数のよさを感じた。地元でボランティアを募集するので、今年も多く生徒たちの参加をお願いしたい。
- ⑨ 子どもたちの自然環境保護や駅の清掃等、ボランティア活動が地元新聞の地域欄に取り上げられることが増えてきた。そういったことを更に深めることで、より地域の人々に池田高校を知ってもらいたい。
- ⑩ 進学先に目が行きがちであるが、将来どのような仕事に就き、どんな風に自分の能力を伸ばすのかをとことん考え、情報を収集し自分を見つめ決定する力を、小・中学校の段階から伸ばすことが必要である。『自分で決める力』、『自分で歩みだす力』、『自分で責任を取る力』が付かなければ、将来本当に困ることになる。これからの社会の多様性の中で、自分で自分の将来を決定する力が付くような教育を実践していただきたい。将来に必要とされる分野の仕事は何かを考えることはとても大切であり、それに対する情報を生徒たちに適切に与え、生徒が自分で決定することができるようにすることが必要である。多様化する社会の中で、医療・福祉系に重点を置いた教育を進めていかれるのならば、是非協力をしていきたい。
- ⑪ 6月9日、今年31回目となる東地域の『はたる祭り』には、家庭クラブの生徒20名程に参加してもらった。3500人程の参加があったので、色々な地域のイベントに高校側から参画することで、池田高校の素晴らしさを地域の方々に発信することが可能となる。是非、積極的に参加していただくことで池田高校の素晴らしさを広めて欲しい。

- ⑫ 最先端のタブレットを使用した授業や、英語で「聞く」・「話す」といった授業など大変素晴らしい授業であった。板書だけでなく、パワーポイントを使用することでテンポよく授業展開がなされており、とてもよいことだと感じた。教師からの一方的な話だけではなく、グループや隣同士で確認し合う姿はよかった。携わっているガールスカウトなどで、様々なボランティアや町の行事に池田高校の生徒の参加が年々増加していることを実感している。池田高校の生徒は、とても真面目で、行事では大変活躍しているが、生徒の素晴らしさは、今日の授業や町の行事を実際に見にこなければ、そのよさがなかなか伝わらない。様々なボランティア活動に参加したり、新聞に多くの活動が紹介されることでアピールが可能となるので、是非、頑張っていたきたい。
- ⑬ 池田町は福祉の町であり、昨年度本校では600名近くがボランティアに参加している。今年度は5月の段階で40%の生徒がボランティアに参加しており、そういったことが小・中学校から高校にまで発展していることを実感した。池田中学校と池田高校がユネスコスクール・ESDを同様に推し進めていることから、「分かる」・「できる」が実感できる授業や、小人数（小集団）でアクティブラーニングを行う授業など、中学校と高校が非常に連動していることを感じた。
- ⑭ 中学校でもアクティブラーニングで主体的に深い学びを進めることで、子ども達が受け身ではなく、自分たちで学んでいくことを実践している。LHRや英語の授業を見学し、池田高校においても座学ではないアクティブラーニングが大変よく行われていることを感じた。しかし、2・3年生の他のクラスの授業を見ると、従来の授業も多かったように感じる。中学校では、子どもが絶対に何かを話す状況を作るように先生方に指示している。高校でもそういった取組をお願いしたい。1年生は体育館で高校卒業後についての進路ガイダンスを行っており、将来に向けて早い時期から指導が始められて、よいことであると感じた。昨年度も、池田高校の新しくなったパンフレットや制服の説明を受けたが、教師にしか池田高校のよさが伝わっていない。やはり池田高校に進学した生徒や、その保護者の声が1番大きな影響を与えてくれることを認識することが必要があるのではないかと。
- ⑮ 今後の少子化を考慮するとこの数字を維持することがベストではないか。空き教室が多くあるので、一般に開放することで有効活用することはできないか。小・中学生などに、ハリヨの研究等、生徒が主体となって今まで行ってきたことを発表してはどうか。更には地域の老人を始め、色々な世代の方々と繋がりができるとよいのではないかと。以前、池田高校では、顕微鏡が生徒1人に1台あり、すごい高校だと感動した覚えがある。それを思うと、先程の授業のように数人に対してタブレット1台ではやはり寂しい。

校長より

本日は皆様から貴重な意見をいただきありがとうございました。中学校3年生の保護者の方が協議会のメンバーになっていただくことで、色々とアピールできるのではないかと考えたが、それは不可能なため、今後、我々の方も様々な活動や教育活動を通じて生徒自身、或いは生徒の保護者に本校のよさを何とか認識していただくと思っている。今日頂いたご意見を参考にしながら、更に活動を進め、次回2月頃に本校の活動を通じて検証していきたい。本日は誠にありがとうございました。